令和元年度福岡県立学校　「新たな学びプロジェクト」　地区版実践発表会

福岡県立小倉商業高等学校

○「総合的な探究の時間」（第１学年）

１年間（３５時間）を通して、探究型の学びを身に付けるとともに、課題解決型の学びを推進しています。
１学期は世界の課題→日本の課題→福岡の課題→北九州の課題へと掘り下げていくことで、課題をマクロに、ミクロに捉えるための方法を学びます。
２学期は世界の共通言語になりつつあるSDGs（持続可能な開発のための目標：2030アジェンダ）をテーマに、まち・ひと・しごと創生（地域創生）に取り組む本気の大人を招聘し、課題解決の方法、チームビルディング、問いの立てかたを学びます。
３学期は商業高校生として、１・２学期の学びを礎に、まち・ひと・しごと創生（地域創生）に向けたアイデア創出を行うことで、何ができるようになったか、何になりたいかをより明確にしながらキャリア発達を促していきます。
地域に多くの生徒が残る学校だからこそ、「総合的な探究の時間」をカリキュラム・マネジメントの扇の要として位置付け、アップデートを重ねていきます。

地域から依頼のあったイベント（小倉城 竹あかり）を新たな学びの場として活用。「総合的な探究の時間」の中で紹介したところ、２００名を超える生徒がボランティアに参加。体験を通して世代を超えた繋がりの大切さを学ぶとともに、地域から学ぶ意味を学びました。

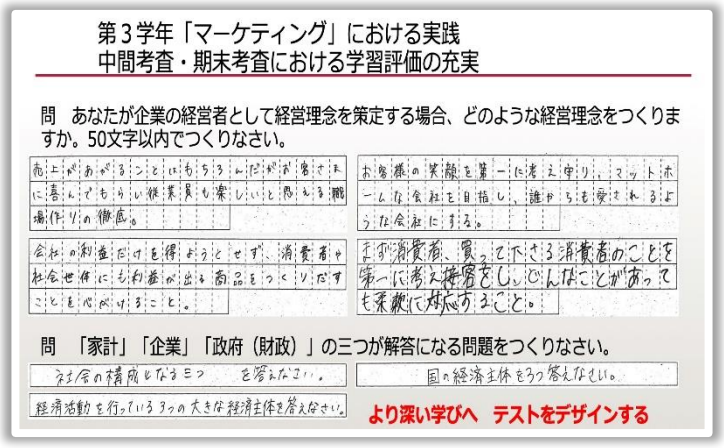
SDGsを自分ごと化するために、国連・各省庁でも実施されたSDGs（持続可能な開発目標）を理解するツール、イマココラボの「2030SDGs」を１年生全てのクラスで同時実施。
県立学校６クラス規模での実施は福岡初の試み。

○マーケティング分野（全学年）

学たな学びへのチャレンジ

マーケティングの世界では何が起きているのか？
商業科目を連携し、急激に変化するビジネスの最新の事例を教材化。
地域ビジネスを創造するビジネスパーソンを招き、ビジネスを俯瞰する力、体系的・構造的に捉える力の育成を推進しています。

多面的な評価への試行


第３学年「マーケティング」における実践
中間考査・期末考査における学習評価の充実

問　あなたが企業の経営者として経営理念を策定する場合、どのような経営理念をつくりますか。50文字以内でつくりなさい。

売上があがることはもちろんだが皆さんに喜んでもらい従業員も楽しいと思える職場作りの徹底。

お客様の笑顔を第一に考え守り、マットホームな会社を目指し、誰からも愛されるような会社にする。

会社の利益だけを得ようとせず、消費者や社会世界にも利益が出る商品をつくりだすことを心がけること。

不買消費者、買って下さる消費者のことを第一に考え接客し、どんなことがあっても柔軟に対応すること。

問　「家計」「企業」「政府（財政）」の三つが解答になる問題をつくりなさい。

社会の構成となる三つ　を答えなさい。

国の経済主体を3つ答えなさい。

経済活動を行っている3つの大きな経済主体を答えなさい。

より深い学びへ　テストをデザインする

深い理解を促し、学びに向かう力をみとるため、「解」が複数ある問いを通して、一人ひとりの本質的な理解度を測るように、考査問題を改善。新しい評価のかたち、カリキュラム・マネジメントの重要性を再確認する機会へと広がっています。

マーケティング分野 ×「総合的な探究の時間」＝ 無限大
学たな学びへのチャレンジ

マーケティング分野で学んだことを教科・科目とコラボレーション。教科・科目を繋ぐキーワードは「自分ごと」。
学びの連鎖を通して、社会の変容を多面的に捉え、課題解決に主体的に行動する“未来人財”の育成に取り組んでいます。

地域とともにある学校（地域協働）

マーケティングの世界では何が起きているのか？
商業科目を連携し、急激に変化するビジネスの最新の事例を教材化。地域ビジネスを創造するビジネスパーソンを招き、ビジネスを俯瞰する力、体系的・構造的に捉える力の育成を推進しています。

倉商100年の輝きを次の世紀へ　社会人基礎力を育てます